

NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC) 主催
BRIDGE KIDS PROGRAMS 2025
ブリッジ サマーキャンプ
～ホームステイプログラム～

大野城市ホストファミリー 大募集!



NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡(APCC)が35年以上にわたって主催する夏の恒例事業「ブリッジ サマーキャンプ」が、今年も開催！
2025年7月、海を越えて世界中から福岡へやってくる11歳の「子ども大使」と「大人の引率者」のホストファミリーを募集します。この夏の思い出に、ご家族で楽しく国際交流してみませんか？

ホームステイ期間

2025年
7月15日(火)～7月22日(火) (最長)

※出国日の関係で、ホームステイ終了日が前後します。



申込受付期間

1月23日(木)～2月21日(金)18:00締切

お申込みについて



左記QRコードから募集要項の確認やお申込みが可能です。スマートフォンにてQRコードを読み取るか、公式ホームページの「参加する」の項目より「ホストファミリー募集」を選択してください。申込フォーム内のパートナー窓口は「大野城市」をお選びください。お申込み前に必ず募集要項をご確認ください。**応募多数の場合は、ホストファミリーをお受けいただけません。**ホストファミリー決定後、海外参加者が住む国・地域の事情や国際的な情勢、航空会社の都合、もしくは海外参加者個人の止むを得ない事情(急病や家庭の事情)などにより、キャンセルや変更が生じる可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】

大野城市 コミュニティ文化課
〒816-8510 大野城市曙町2-2-1 大野城市役所新館3階
TEL:092-580-1876 Email: shakai@city.onojo.fukuoka.jp
OPEN…平日8:30～17:00 (土日祝休み)

【申込みに関するお問い合わせ】 **APCC**

APCC (NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡)
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-4-13 福岡市舞鶴庁舎6階
URL: <https://www.apcc.gr.jp>
TEL:092-710-6102 Email: info@apcc.gr.jp
OPEN…平日10:00～18:00 (土日祝休み)

APCC と BRIDGE KIDS PROGRAMS

「NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡(APCC)」は、1989年に福岡市制100周年を記念して開催された「アジア太平洋博覧会(通称:よかトピア)」の参加事業としてスタートし、福岡をベースに展開している民間レベルの草の根国際交流事業を運営している団体です。英語名「Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA」その頭文字を取り、親しみをこめて「APCC」と呼ばれています。APCCの事業は、子ども達を対象に、国内外でのホームステイや学校体験など様々な交流機会を提供し、言葉や習慣の違いなどに触れ、お互いを分かり合う「OMOIYARI(思いやり)」の心を育てています。「BRIDGE KIDS PROGRAMS」では、毎年夏に、世界各地から招いた200人以上の11歳の「子ども大使」と引率者が福岡の街全体をキャンプ地とみたり、ダイナミックな異文化交流を繰り広げる「ブリッジ サマーキャンプ」を行います。今回募集するのは、ブリッジ サマーキャンプの中の「ホームステイプログラム」において、子ども達と引率者をボランティアで受け入れてくださるご家庭です。昨年205家庭のご家族に子ども達と引率者を受け入れていただきました。福岡にしながら、ご自宅で国際交流を楽しんでみませんか？

We are the BRIDGE

つなげます。世界の夢を

ホストファミリー応募時のお願い

- ・ホストファミリーに決まったご家庭は、すべての事前研修へ【参加必須】となります。安全・安心なホームステイ受け入れのため、決定後の各研修の欠席は認めておりません。詳しいスケジュールはAPCC公式ホームページにて、申込前に必ずご確認ください。
- ・参加が決まったご家庭には、参加費・事務手数料3,000円(税込)のご負担をお願いしております。

参加予定の国・地域

中国・韓国・香港・台湾・シンガポール・フィリピン・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・バングラデシュ・ブータン・パキスタン・インド・ラオス・ネパール・モンゴル・スリランカ・オーストラリア・ニュージーランド・ハワイ(米国)・フィジー・キリバス・パプアニューギニア・バヌアツ・パラオ・ミクロネシア・ミャンマー・タヒチ・トンガ・モルディブ・ツバル・クック諸島・カンボジア・広州市(中国)・イポー市(マレーシア)・オークランド市(米国)・アトランタ市(米国)・江蘇省(中国)・大連市(中国)・ペルー・ホーチミン市(ベトナム)・キルギスなど



ホストファミリー経験者の感想

楽しかったのは、毎日の寝る前の1時間でした。カードゲームをしたり、ものまねや変な踊りをしてみたり、子ども大使も息子たちも1番声を出して笑っている時間でした。言語が違って心を通じる!! 面白いことが1番伝わってきて、その瞬間をそばで見るのが何よりも幸せでした。



(イポー市/子ども大使受け入れ)



(スリランカ/引率者受け入れ)

我が家はシャペロン(引率者)を受け入れました。優しくいつもニコニコで我が家の子ども達にも話しかけてくれたり、一緒にゲームをしてくれたりと、子ども達もシャペロンのことが大好きに。子ども達も英語を話そうと頑張ってくれました。

言葉が通じなくてお互いに初めは距離がありましたが、ゲームを通じて、リアクションをお互いにするところからコミュニケーションが少しずつ出来ていきました。心を通じ合う感じが見えて、ホームステイだからこそ経験できることだと感じました。最後は二人で作った言葉を使って大笑いしていました。



(インド/子ども大使受け入れ)

家族の一員として日々の生活を共にしながら、夏の忘れられない思い出を作ませんか？

【子ども大使受け入れ希望の方】

- ★小学4～6年生(2025.4月時点)の子どもがいることが条件です。
- ★多感な成長期のお子さまにとって、肌で感じることができる交流は、貴重な体験になるはずですよ。
- ★世界に友だちを作ることができるチャンスです。



【引率者(シャペロン)受け入れ希望の方】

- ★英語(日常会話程度)の意志疎通ができる方のいるご家庭が条件です。
- ★お子さまの有無や年齢、家族構成に関係なくご応募いただけます。
- ★シャペロンは20歳以上の成人ですので、英語や各国の母国語が話せるシャペロンと語学交流も可能です。

※海外参加者は全員「海外旅行保険」に加入しています。



APCC

NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡

🔍 APCC 検索

